



題字は松井岳洋氏

No. 408  
平成 23年 7月

発行  
財団法人日本詩吟学院岳風会 認可

碩心会

発行者 内山岳青

編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28  
Tel/Fax. 0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

### 継続は力なり

副会長(兼)逗子地区長 磯村 岳朋

碩心会も来年は75周年になります。私は、入会して今年で37年、10年一昔と言いますがもうすぐ4昔です。長いような短いような、



今振り返れば「あつ」という間でした。楽しかった事、悔しかった事、色々有りましたが、最近漸く続けて来て良かったと思えるようになりました。

毎年、「忙しい、忙しい！」と思いつつ、一年が経っています。継続出来た一番の要因は健康だったのと、素晴らしい先輩が沢山いたこと、何より夫が、私の趣味に付き合ってくれて、自由な生活を送ることが今に至ったと思っています。折角長く続いたのだから、本腰を入れて稽古をして行きたいと思っています。持論として常に次のように思っています。  
・本気ですれば、大抵の事は出来る。

・本気ですれば、何でもおもしろい。

・本気でしていると、誰かが助けてくれる。

こんなことばを、心の中で唱えようと、本当に行きまします。要するに、何事も諦めずに一生懸命する事だと思っています。

折しも来年は「碩心会75周年記念吟詠大会」を開催する年。碩心会にとって、重要な大会です。歴史ある碩心会のために、みんなで本気になって取り組みましょう。

会員全員が、一糸乱れず、一丸となれば、怖いものは有りません。

創立75年という会は、日本詩吟学院岳風会に於ても、五番以内に入る長寿の会です。誇りを持って、この記念大会を盛り上げて下さい。成功するか否かは、ひとえに会員の肩に掛かっています。

まずは、詩吟を楽しむ、そして健康を維持する。健康でなければ、何をしても楽しめません。毎日を、笑顔で過ごしましょう。

笑顔は『力』です。

### 行事予定

総本部第57回夏季吟道大会

日時 7月23日(土) 受付午前9時15分

24日(日) 受付午前9時15分

場所 日本教育会館

碩心会第14回夏季吟道講座

日時 8月21日(日) 受付午前9時20分

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

神奈川岳風連合会吟道大会

日時 9月4日(日) 開場午前9時10分

場所 相模原市民会館ホール

全国優秀吟者吟道大会

日時 9月4日(日) 開場午前9時30分

場所 明治神宮会館

碩心会秋季審査会

日時 9月24日(土) 受付午前9時15分

午後12時30分

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

神静地区吟道講座

日時 10月22日(土)

場所 小田原市民会館

葉山町詩吟舞連盟文化祭

日時 10月23日(日) 午後1時～2時30分

場所 葉山町福祉文化会館ホール

### 平成23年 碩心会総会開催

日時 5月29日(日) 午後1時開始

場所 逗子小学校音楽室

出席者 46名 委任状9名 出席率94%

会則 第4章第11条3項により総会が開催されました。

開会の辞、碩心会の詩合吟、会長挨拶の中で、「碩心会は来年初立75周年を迎えます。75推進部を予め作り会場の確保等進めておりましたが、来年5月27日(日)に鎌倉芸術館小ホールを確保することが出来ました。今後準備委員会を立ち上げ具体的なことを決めて全会一致協力して遂行したいと思えます。今年も会員増強を重点項目の一つとして皆さんで取り組んでいただきたい。

総本部関係では、公益社団法人に向けての移行の手続きを進めています。」等の話がありました。

会長が議長に選出され議案に入りました。

(1)平成22年度事業報告の件

資料に基づき会長が説明

(2)平成22年度収入支出決算報告の件

資料に基づき有友経理部長、小菅教務部長、小野審査業務部長が説明

(3)監事より会計監査報告があり、1号及び2号議案が承認された。

(4)平成23年度事業計画及び収入支出予算

承認の件

資料に基づき内山会長、有友経理部長が説明、以上審議の上、承認されました。

その他各部長より今年度の活動における決意表明がありました。尚、碩心会創立75周年記念大会に向けての準備が多忙である事及び総本部主催の行事が増えた事を考慮し、平成23年度は皆伝会及び秋の「吟詠と詩舞の集い」の実施を見送る事となりました。伊藤

### 碩心会吟詠温習会

7月3日(日)葉山町福祉文化会館で標記温習会が開催されました。

最初の会員吟詠は、詩情溢れる情緒豊かな吟と華麗な舞による14吟舞(内2は吟のみ)が展開され会場を魅了しました。

12チームが競う連吟コンクールは約4か月間の厳しい練習成果を発表しようと熱戦が繰り広げられ、緊張のあまり絶句、高い音調等予期しない状況もあり会場は終始緊張と熱気に包まれました。

午後から式典があり、内山会長から本温習会は75周年大会を考慮した内容で行っており、この記念大会を全員協力して成功させたい旨の言葉がありました。招待吟詠では、心で吟ずる松井岳洋先生の吟に惹かれて吟技を高め

た等各会長とも碩心会に対する敬意と謝意が表され模範吟を頂きました。

立体吟では市民書道家荻原先生による素晴らしい書、自作の和歌・俳句を詩情に合致した映像のもと情感豊かに吟ぜられ、空手吟では聖空会の一糸乱れぬ迫真の少年拳士、短剣と空手の演武等終始会場を魅了しました。

最後にコンクールの成績発表があり、優勝 渚 原田・菊地・今原、2位真澄 森田・八神・高橋、3位相洋 西岡・根岸・有馬、4位紫陽花 矢島・水留・藤崎、5位薫風 高見・高橋・栗原氏が表彰されました。引続き懇親会が行われ懇親を深めました。高見

### 昇伝段位認許

(平成23年7月1日付)

皆伝 1名

114 嶋原隆岳

九段 4名

102 水留裕岳 103 行谷隆岳

105 黒田慶岳 104 山本新岳

十段 3名

85 根岸京岳 87 矢嶋合岳

86 矢島綾岳

総伝 3名

4 高橋岳之 60 池田岳清

61 村上岳雅

準師範 2名 (平成23年7月1日付)

13 有友嘉岳 94 大内翠岳

## 第20回青少年吟詠大会

東伏見支部 由 谷 悦 風

平成23年6月12日、梅雨の晴間となった日曜日、レイウエル鎌倉に於いて、青少年吟詠大会が開催されました。

修礼、開会の言葉に続き、朗詠の先導を傾心会の広瀬直樹君が動じることなく立派に吟じました。コンクールが始まると、会場は緊張感に包まれ、三才から高三まで14名の張り



のある若い声が会場いっぱいに響き渡りました。我が傾心会では、松浦みづきさんが中学生の部で見事優勝、広瀬優作君と広瀬直樹君も堂々と吟じ、直樹君は優秀賞を受賞し会場からは大きな拍手が起りました。

午後からの幼青少年合吟、家族吟詠は可愛らしい子供達が一生懸命吟じる姿が大変微笑ましく会場を和ませてくれました。この大会に中高生達が自ら関わろうとする姿勢は頼もしい限りです。吟界の次代を担う青少年の皆さんに大きな拍手を送りたいと思います。

## 神静地区吟詠大会

一色支部 上 野 花 風

新緑に背を押され、いざ三島文化会館へ、降り立つと男らしく凛々しい富士山が迎えてくれました。今年の大会はいつもと違っておりました。3月11日に起きた大震災と原発の事故です。毎日映しだされる津波の恐ろしさや悲惨な光景を目にして、心が落ち着くことはありませんでした。練習は、節電のための計画停電、避難された方への公共の場所の確保などで限られた時間と場所で行われ、私は合吟コンクールに出場させて頂きましたが、合吟の練習では、先生方3人の女性ならではの緻密さと心くばりで教えて頂き感謝しております。

そして私個人としましては、何度か出場させて頂き、いつになく心の中に悔しさを覚えたことです。賞を取りたい、このままでは皆様にも申し訳ないと思えたことでした。そう、改めて被災地の皆様が届くような大きな声で吟じ、皆が繋がっていること、皆で吟じられる日が一日も早く来ることに思いを寄せ、吟じさせて頂きました。 終ったあと皆様から「良かったよ！」と声をかけて頂き、賞には届きませんでしたでしたが心はほんのり暖かでした。

## 第23回詩吟体験教室に参加して

東伏見支部 田 邊 耆 山

6月11日(土)葉山町立図書館において詩吟体験教室が行われた。昨夜来の大雨で新人の参加は無かったが、高見湘岳先生のご指導で、漢詩、一休宗純「客中」和歌、石川啄木「やわらかに」今迄にない数々のエピソードを交えた作者紹介は、詩の背景の理解を深め、吟の心得は「詩の心を理解して音で表わす」とのご説明と、素読の重要性を強調されたことは印象に残った。雨に負けぬ一時なり。

### 平成23年度神静地区 師範吟詠大会

俳句等説明・研修会

去る6月18日(土)、小田原市民会館に於て標記大会が開催され、開会に先立ち東日本大震災での犠牲者のご冥福を祈り全員で黙祷を捧げました。開会の辞では、7月1日に行われる岳風忌に大震災で亡くなられた十数名の会員の御霊も伝段位に関係なく合忌されることのお話があり、心安らぐ思いでした。

吟詠に入り傾心会からは、師範の部で鳴原隆岳、行谷隆岳のお二人による吟詠がありました。午後は吟道研究委員会の3名の先生方による新吟詠教本の俳諧紀行文、俳諧歌、俳句について研修がありました。 伊藤

### 支部紹介

#### 少年入会で教場が大賑わい

紫陽花支部 池田清岳

ややマンネリ感が否めなかつた我が支部もこのところ俄然活気に満ちてきました。

最近小学4年生の吉田朋之進君が母さんと共に入会、更にしばらく休んでおられた大ベテランのお二人が再入会され、いっぺんに大所帯となりました。朋之進君の朗吟に杉山先生の目が細り、ベテランの詠ずる練磨の吟にメンバーの目が覚めるといふ具合で更に新鮮で活気あるものとなって来ました。



お稽古は「吟道訓」の素読に始まりますが、新会員を迎えて和氣藹々のなかにも程良い緊張感が生まれ吟の研鑽に一段と身がはいるものとなっています。

これからも食事会や懇親カラオケ会等を企画し、さらに楽しい、元氣印の教室にしていきたいと思っております。

### “みんな”で増やそう新会員

#### 詩吟と私

濤朗支部 森岳暎

松井先生の一期生として初めて詩吟を耳にしてから25年、どうしてこの様に長く続けることが出来たのかと自分でも不思議に思いました。

ふと振り返った時、それは自分の人生の中で逆境に立たされた時目に見えない詩吟の力と大切なお仲間を支えて頂いた事でした。

そして今日まで続ける事が出来た事に心より感謝しております。

私達は松井先生のご逝去に接し途方に暮れておりました。

先生の存在感の大きさを知り感謝し反省もしました。

韻読を聞くたびに素晴らしい先生の韻読を思い出します。

今は韻読を教えて頂いてなかった事をとても残念に思っています。

先生の御恩に報いるためにも総伝をスタートとして頑張つて行きたいと考えております。

お陰さまで会長始め先生方のお骨折りで現在は落ち着いてお稽古が出来るようになりました事に感謝しお礼を申し上げます。

これからも御熱心な村田先生の下で、先生のおっしゃる詩の心を少しでも理解し、表現出来るよう努力して行く所存です。



#### 会員のうごき

\*入会 (6月1日付)

227 島袋泰成 (相洋)

葉山町長柄501-6

☎ 046-801-0704 紹介者 根岸岳啓

228 亀井洋子 (渚)

逗子市沼間3-16-31

☎ 046-872-9868

#### 編集後記

「素読100回、吟300回」レツツ詩吟での高見湘岳先生の言葉、素読の大切さを改めて認識したひと時でした。

読書百遍意自ら通ずといふ諺もありますが、感覚器官を総動員して読むことにより、その詩の持つ深い意味が垣間見えてくるものなのでしょうね。

広報部

23年7月1日現在	会員数
葉山地区	119名
逗子・大船地区	95名
合計	214名